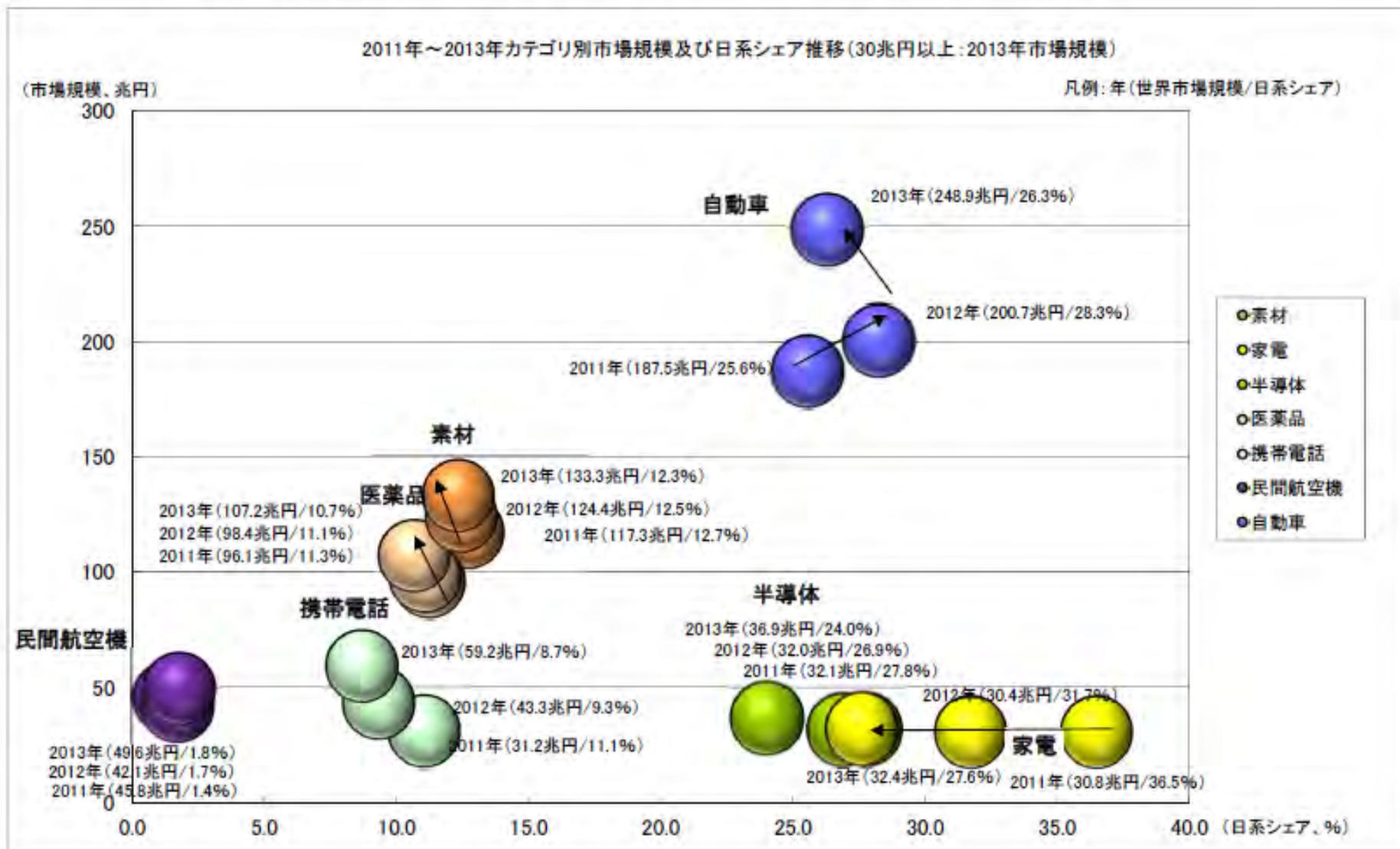
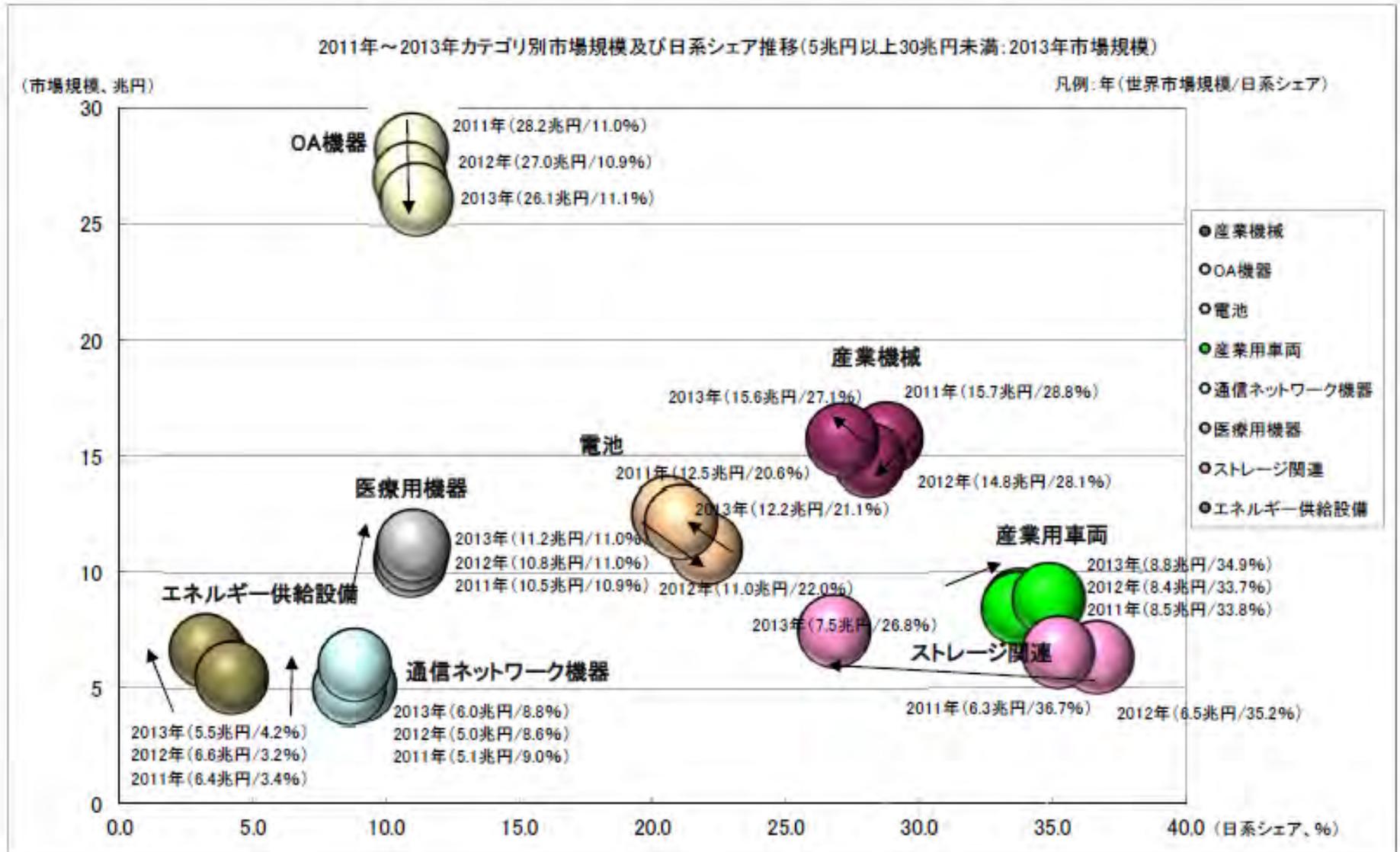


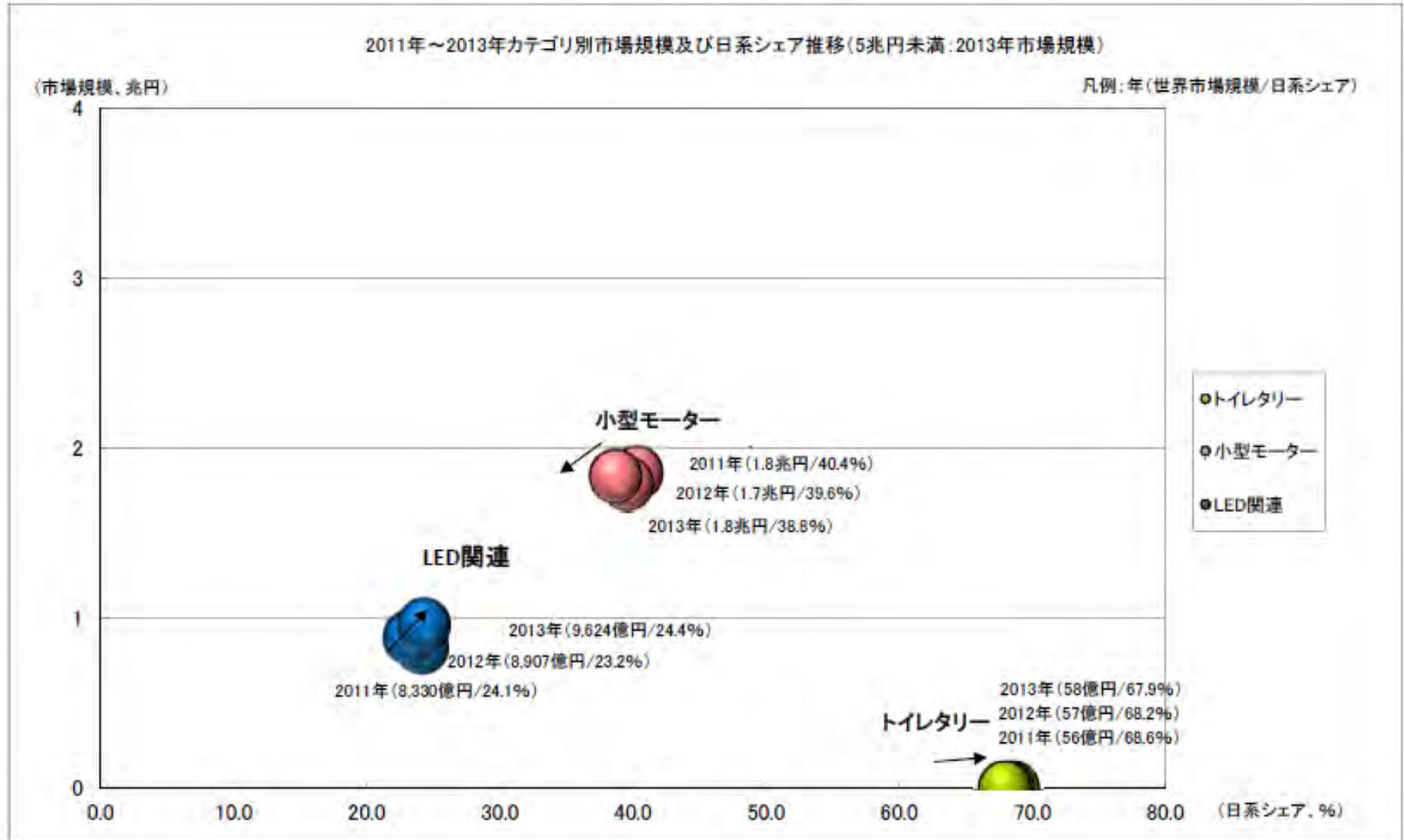
I-2. 企業国籍区分別の主要製品の直近3カ年の世界市場規模と市場占有率および売上額年推移のバブルチャート
 I-2-1. 2011年～2013年カテゴリ別市場規模及び日系シェア推移(30兆円以上: 2013年市場規模)



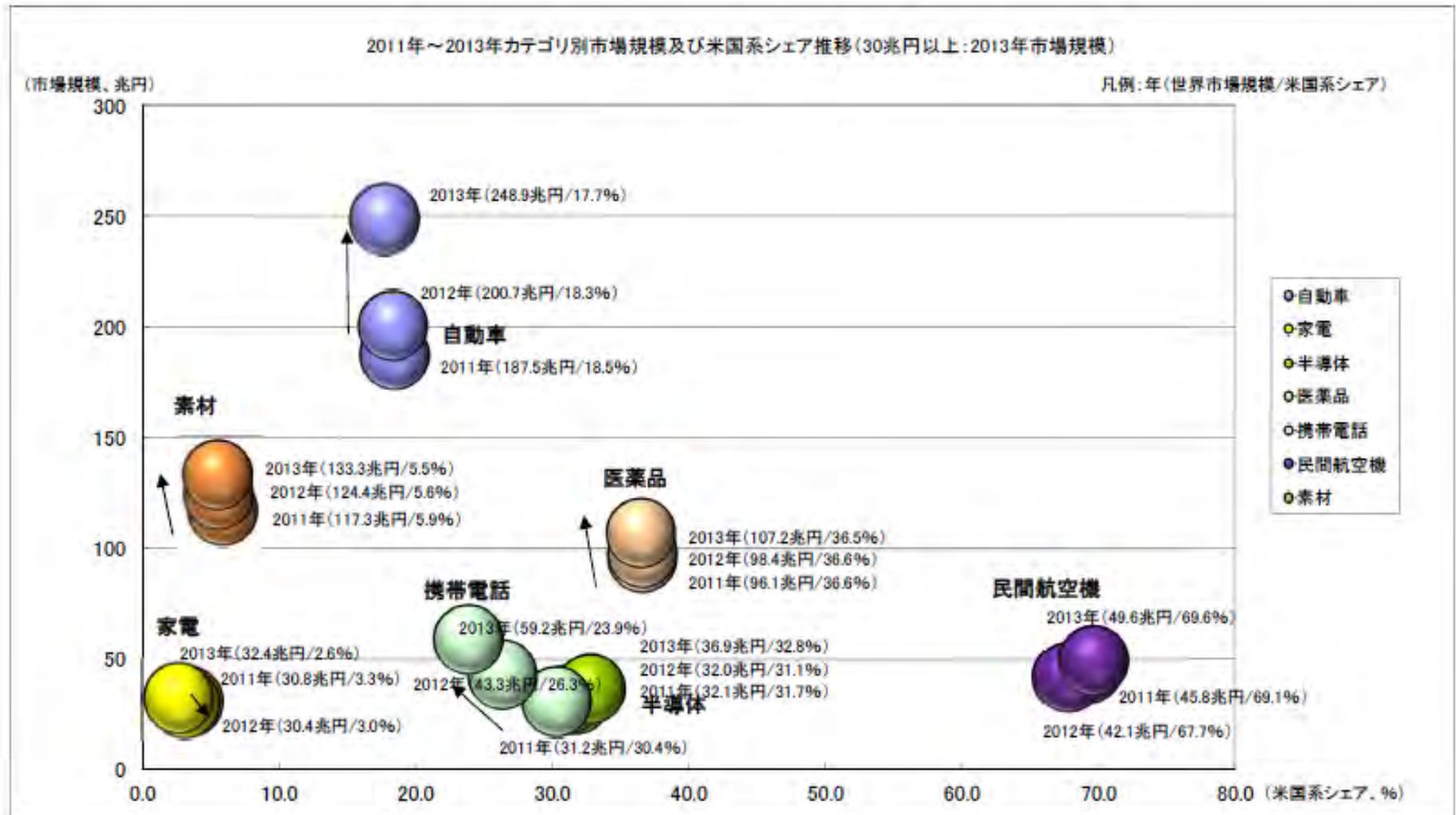
I-2-2.2011年～2013年カテゴリ別市場規模及び日系シェア推移(5兆円以上30兆円未満:2013年市場規模)



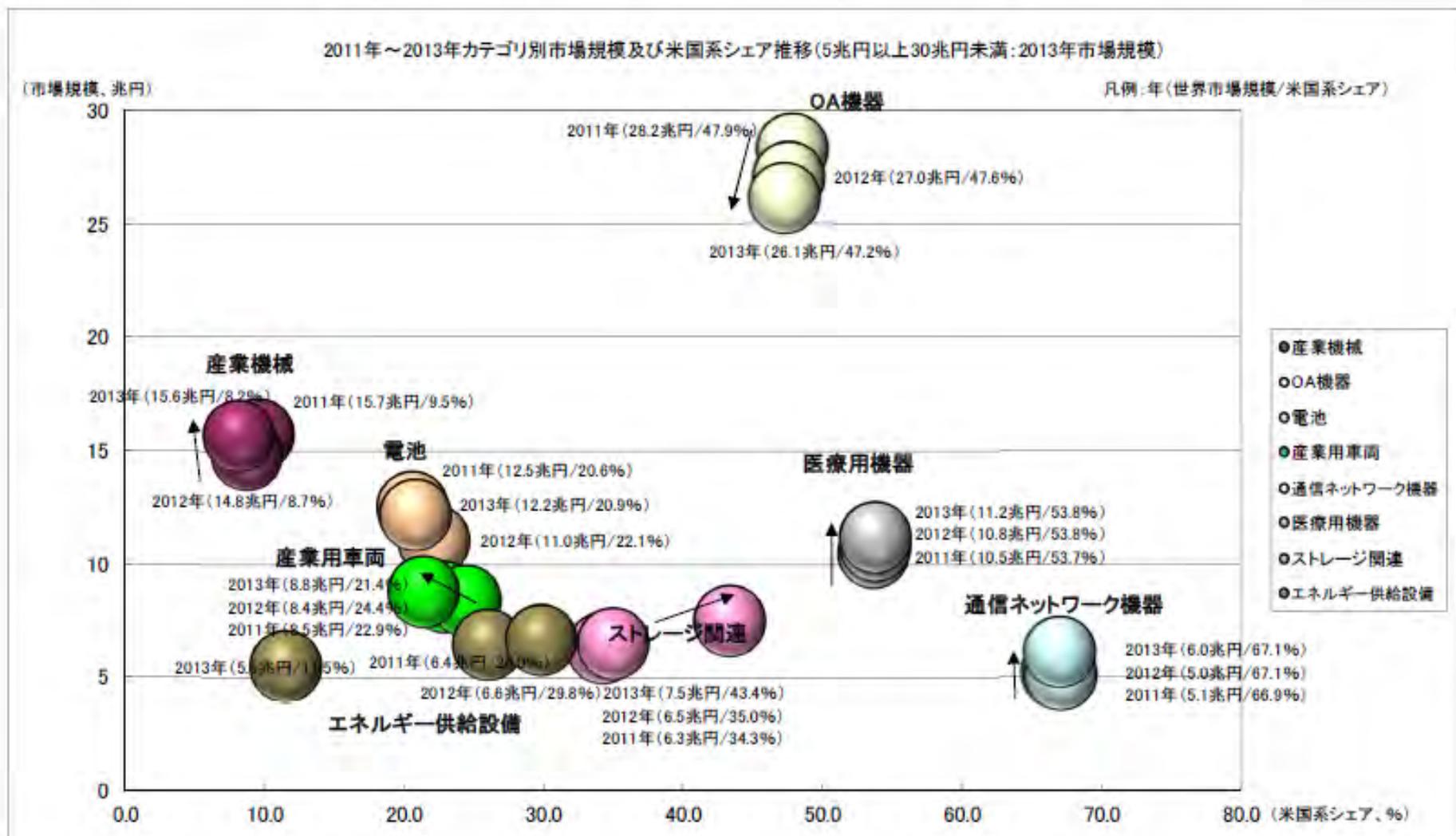
I-2-3.2011年～2013年カテゴリ別市場規模及び日系シェア推移(5兆円未満:2013年市場規模)



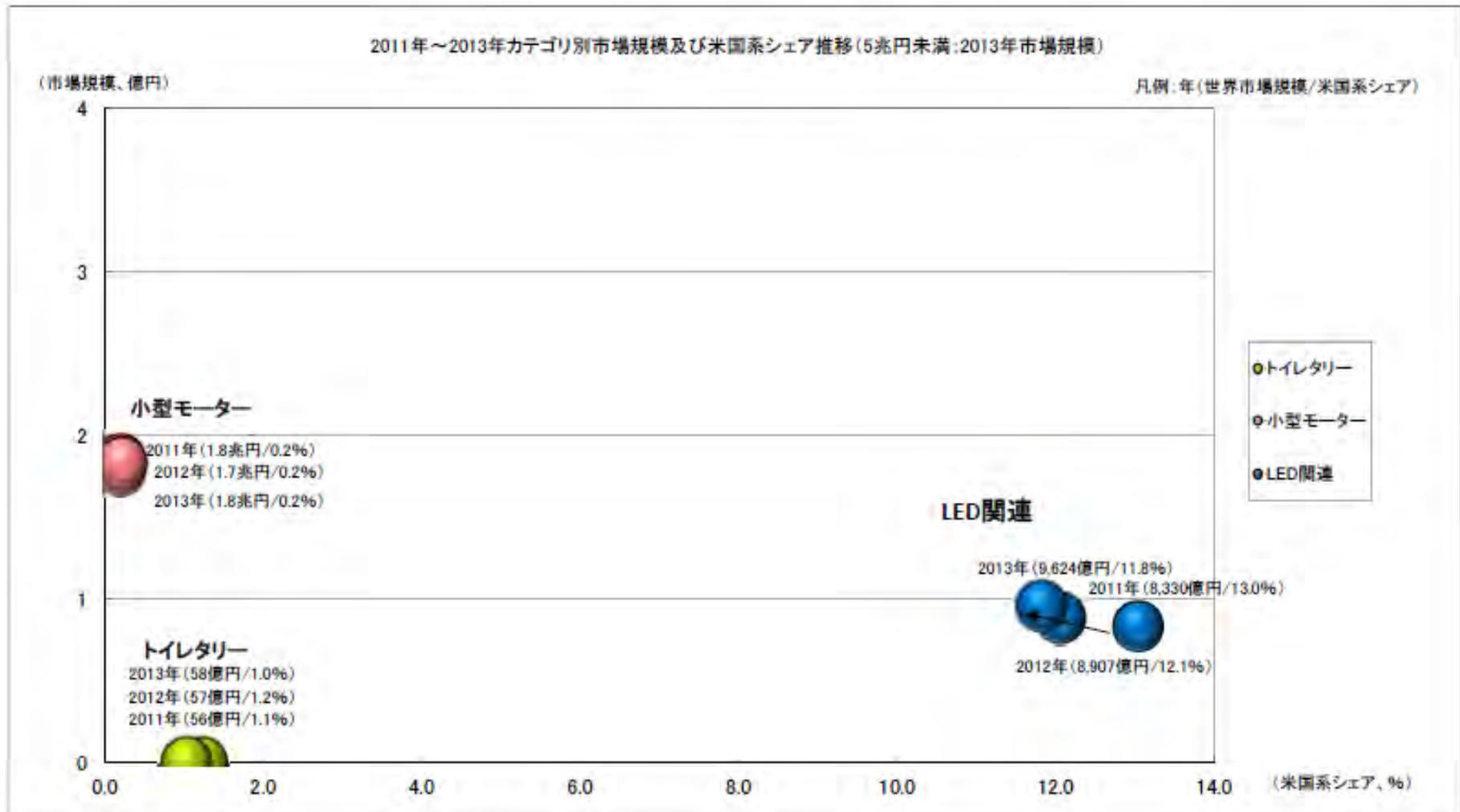
1-2-4.2011年～2013年カテゴリ別市場規模及び米国系シェア推移(30兆円以上:2013年市場規模)



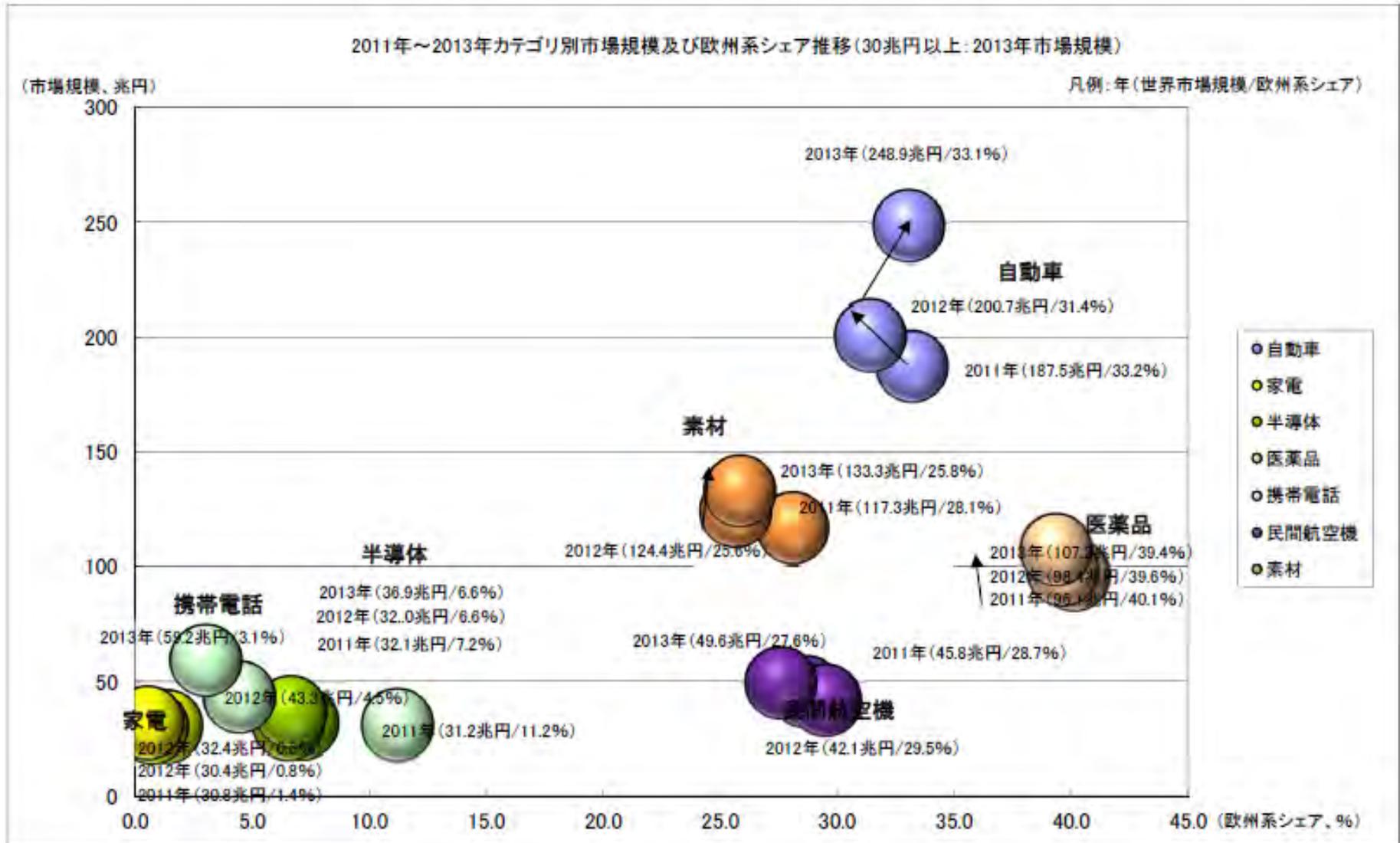
I-2-5.2011年～2013年カテゴリ別市場規模及び米国系シェア推移(5兆円以上30兆円未満:2013年市場規模)



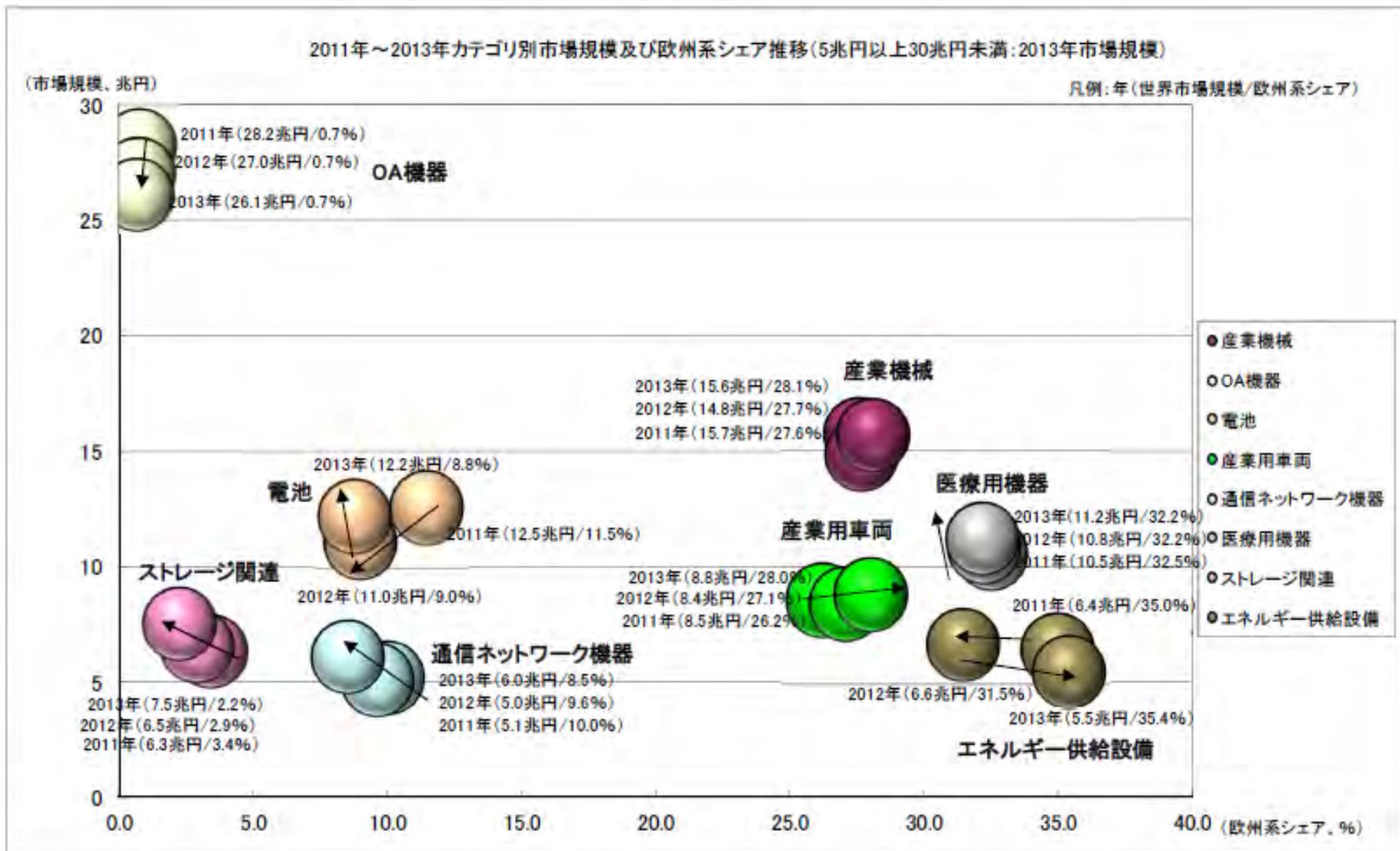
I-2-6.2011年～2013年カテゴリ別市場規模及び米国系シェア推移(5兆円未満:2013年市場規模)



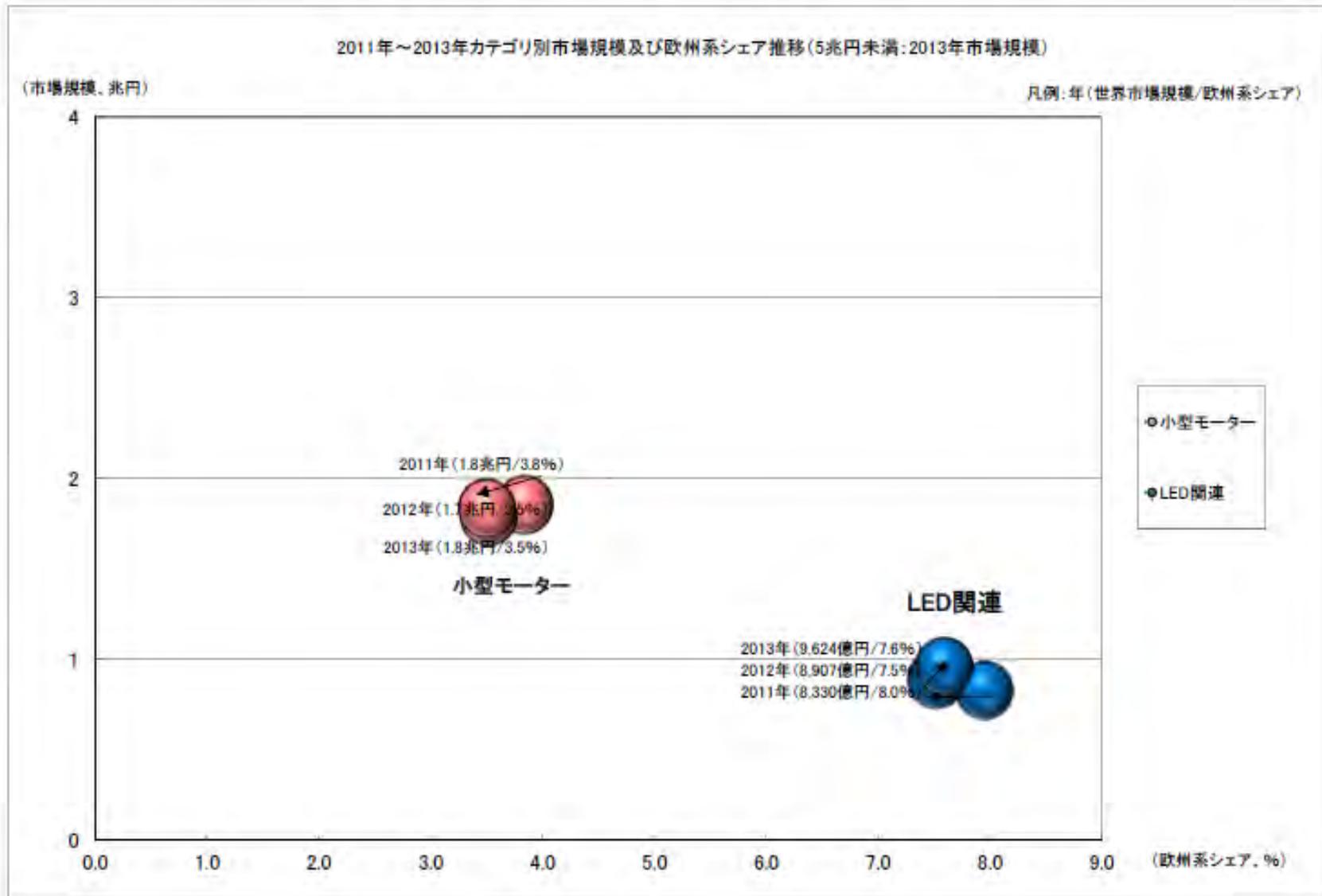
I-2-7.2011年～2013年カテゴリ別市場規模及び欧州系シェア推移(30兆円以上:2013年市場規模)



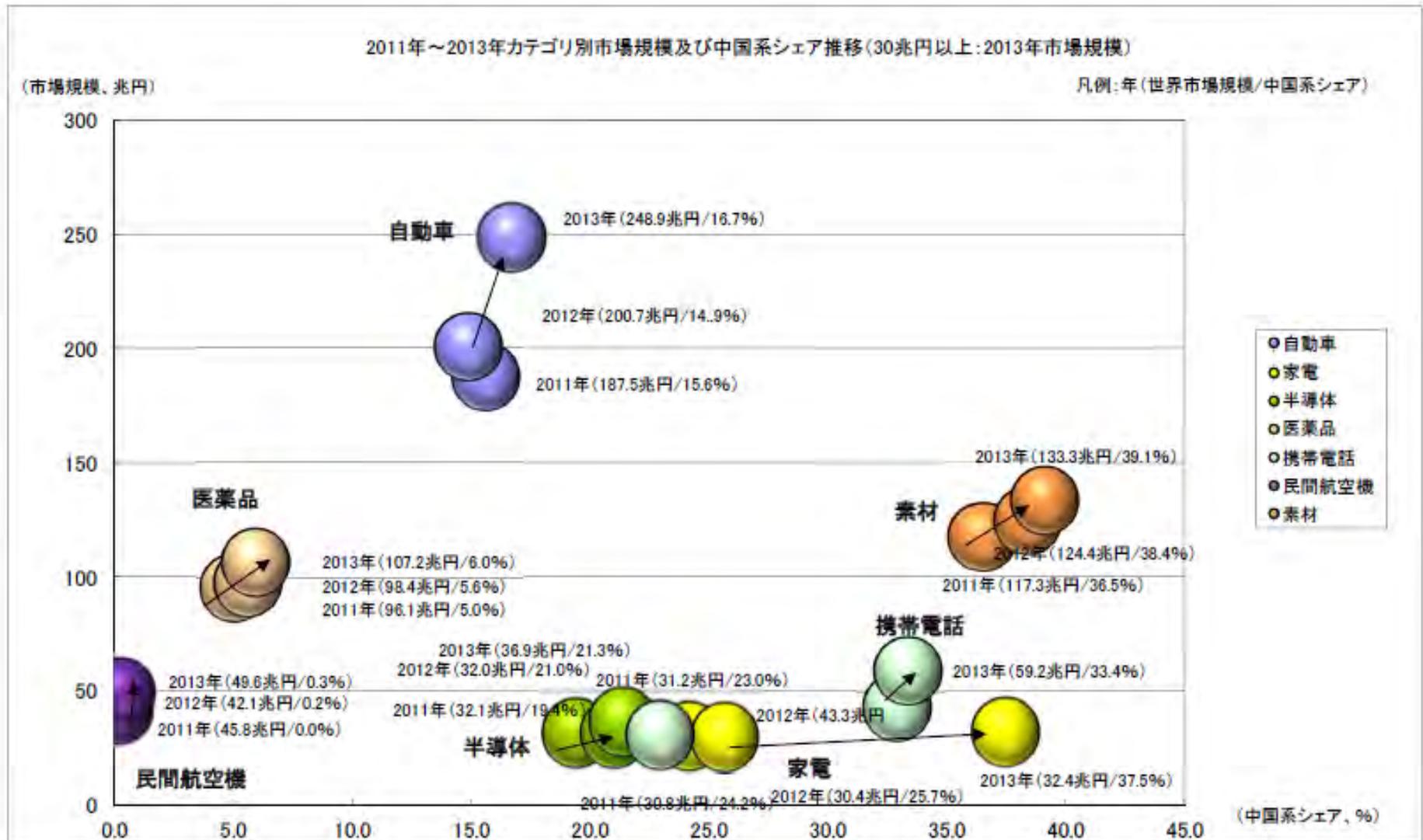
I-2-8.2011年～2013年カテゴリ別市場規模及び欧州系シェア推移(5兆円以上30兆円未満:2013年市場規模)



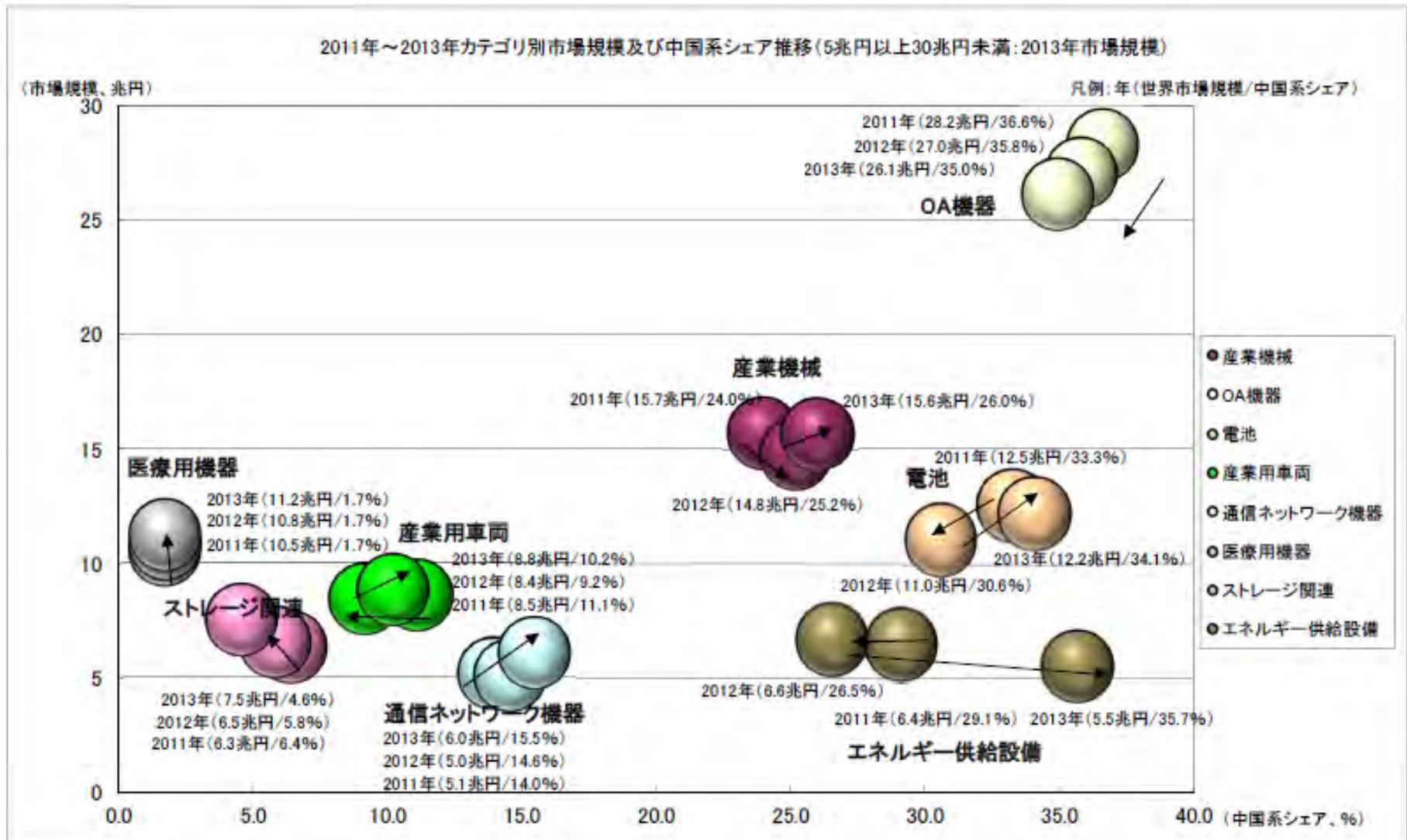
I-2-9.2011年～2013年カテゴリ別市場規模及び欧州系シェア推移(5兆円未満:2013年市場規模)



I-2-10.2011年～2013年カテゴリ別市場規模及び中国シェア推移(30兆円以上:2013年市場規模)



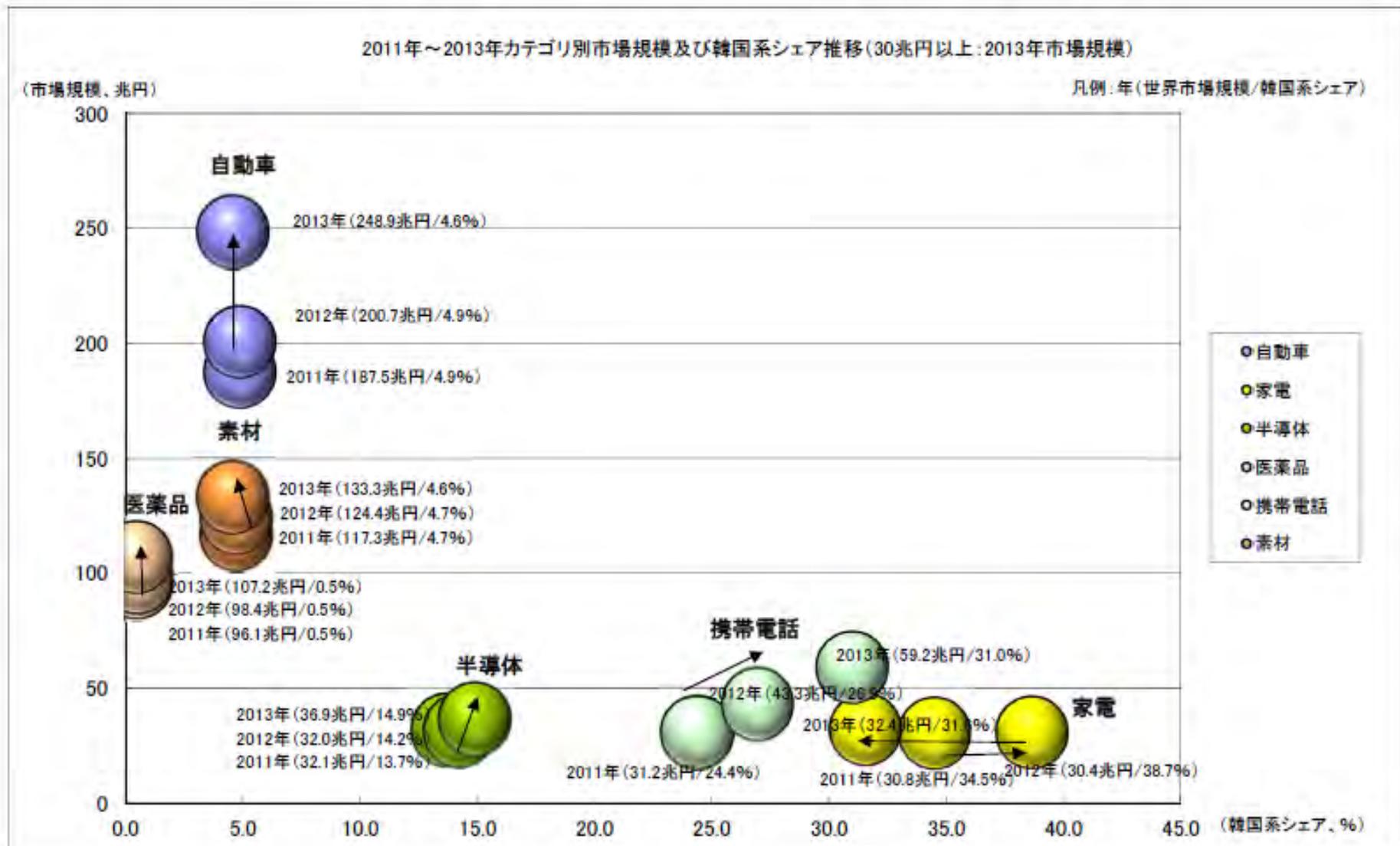
I-2-11.2011年～2013年カテゴリ別市場規模及び中国系シェア推移(5兆円以上30兆円未満:2013年市場規模)



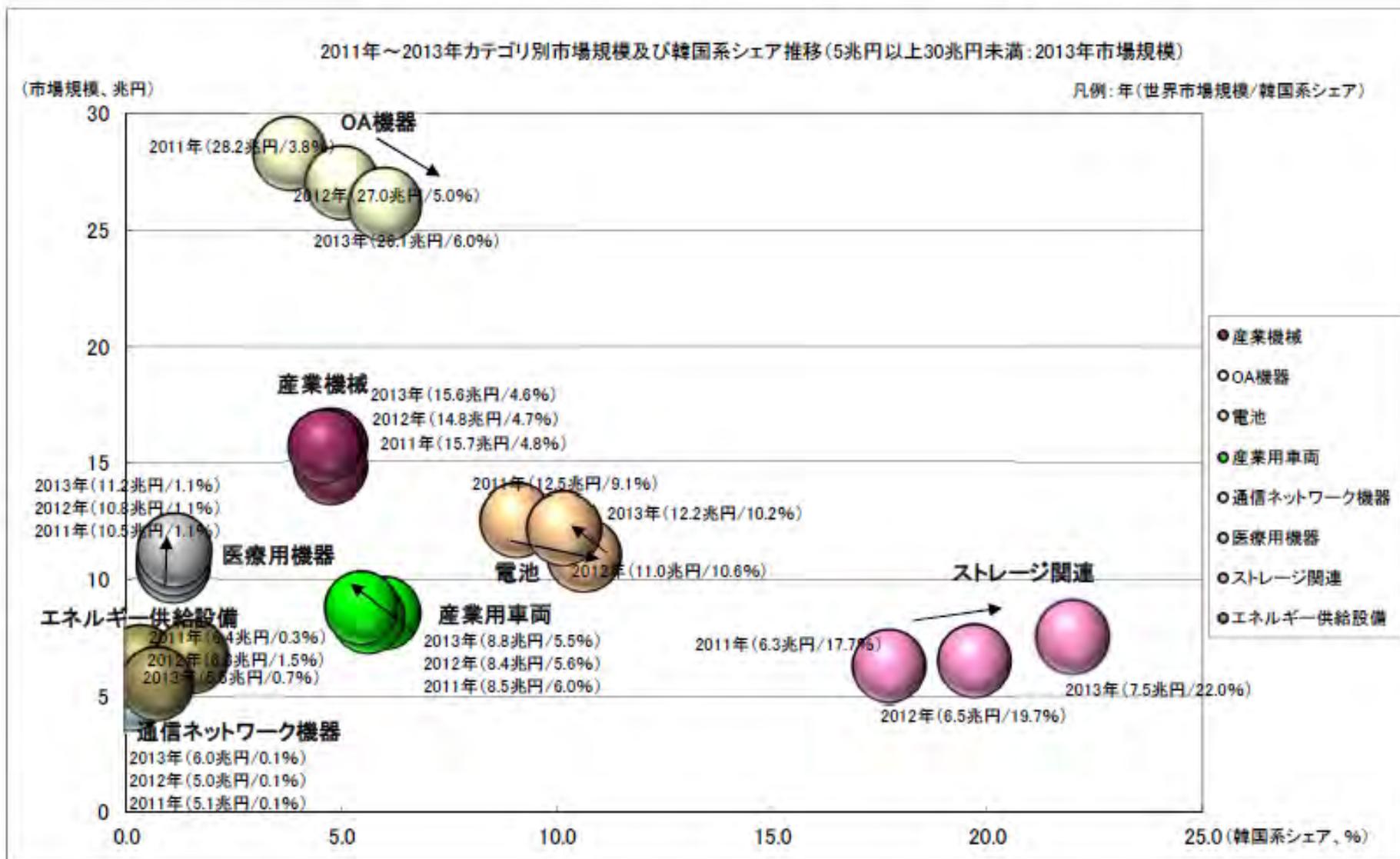
I-2-12.2011年～2013年カテゴリ別市場規模及び中国系シェア推移(5兆円未満:2013年市場規模)



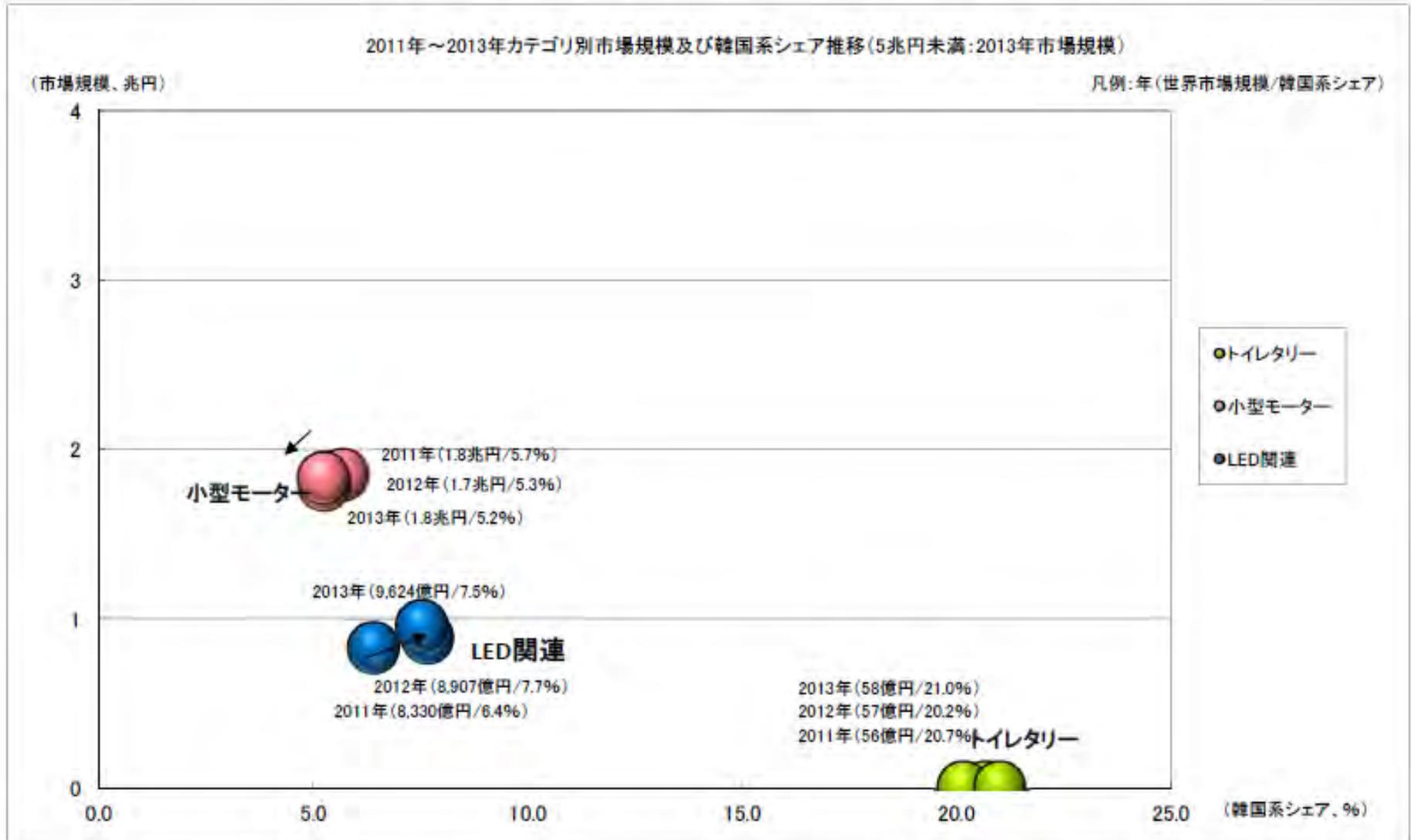
I-2-13.2011年～2013年カテゴリ別市場規模及び韓国系シェア推移(30兆円以上:2013年市場規模)



I-2-14.2011年～2013年カテゴリ別市場規模及び韓国系シェア推移(5兆円以上30兆円未満:2013年市場規模)



I-2-15.2011年～2013年カテゴリ別市場規模及び韓国系シェア推移(5兆円未満:2013年市場規模)



2. 開発戦略、実施内容の妥当性

2 (1) 研究開発の全体像と時間軸、各省の分担を具体的に示してほしい。

- d 限られた予算に鑑み、ベンチマークや現状分析、産業界や社会のニーズを踏まえ、どの研究分野に集中するか
- f 3省はどう分担するのか(実施内容、分野や時間軸での分担)
- g 本プロジェクト(文科省担当部分)における研究分野ごとの資源配分(予算、人材)、成果目標を示してほしい
- i 3省における人材育成の分担(分野、人数等)はどうなっているか

具体的に集中する研究開発課題の選定や、その研究開発を行う上での資源配分(予算・人材)の詳細な計画については今後詳細に検討していくものの、各省の分担については

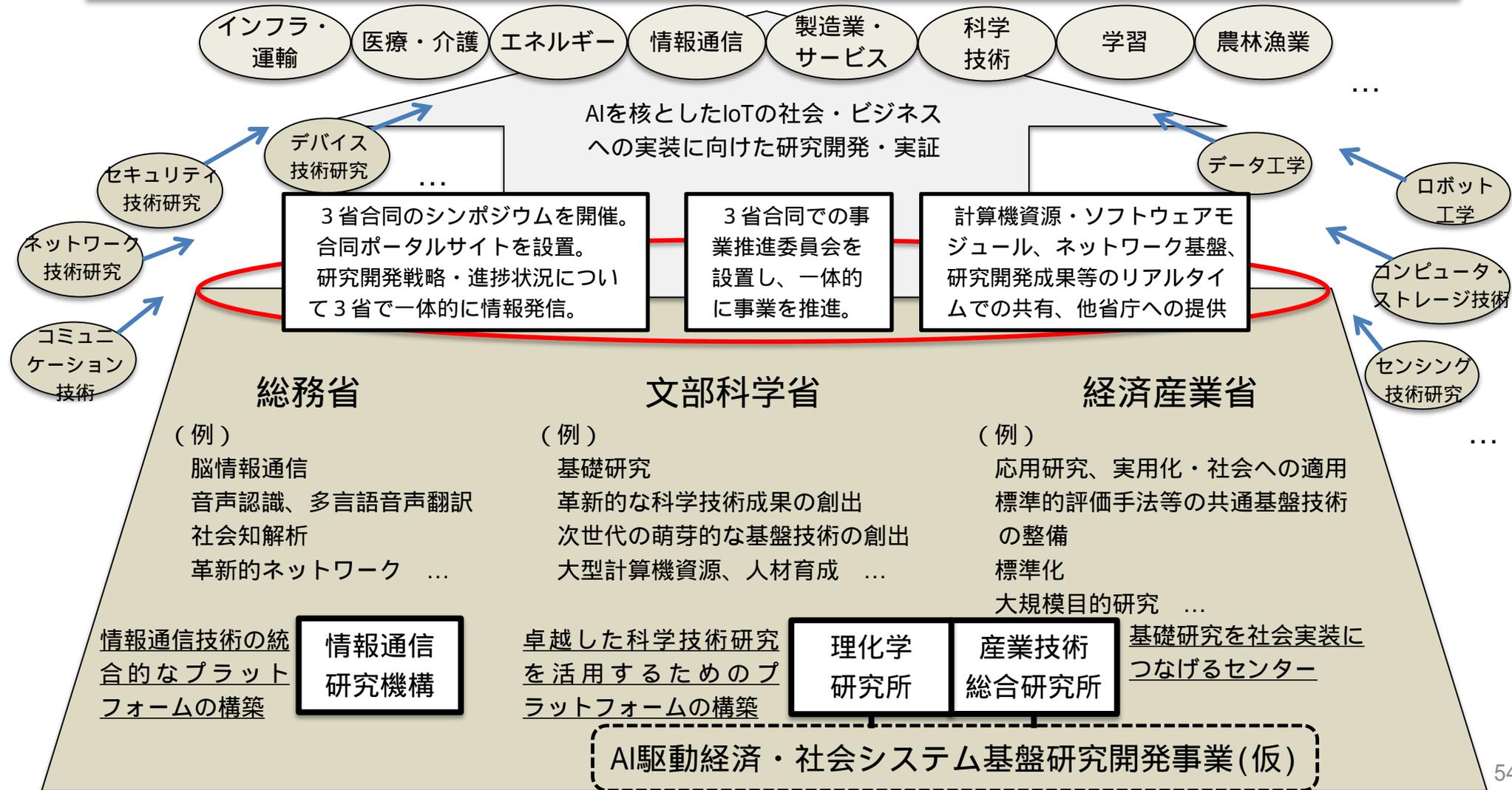
- ・ 文部科学省が、卓越した科学技術研究を活用するためのプラットフォームの構築
(基礎研究、革新的な科学技術成果の創出、次世代の萌芽的な基盤技術の創出、大型計算機資源、人材育成...)
- ・ 経済産業省が、基礎研究を社会実装につなげるセンター
(応用研究、実用化・社会への適用、標準的評価手法等の共通基盤技術の整備、標準化、大規模目的研究...)
- ・ 総務省が、情報通信技術の統合的なプラットフォームの構築
(脳情報通信、音声認識、多言語音声翻訳、社会知解析、革新的ネットワーク...)

としている。

11月4日には、3省及び関連機関を交えた「次世代の人工知能技術の研究開発に関する3省事業推進のための準備会合」を開催している。引き続き3省での検討や、AIP推進委員会における議論、産業界も交えた多方面からの検討などを通じて精査し、今後任命されるAIPセンターのセンター長との議論を経て詳細に決定していく。

次世代の人工知能技術の研究開発における3省連携体制

- (1) 各分野でのビッグデータの集積、センサーの量的・質的拡大（IoT: Internet of Things）。
- (2) 人工知能の50年来の大きな技術的ブレークスルー（自ら特徴を捉え進化する人工知能を視野）。
- (3) 3省連携による研究開発成果を関係省庁にも提供し、政府全体として更なる新産業・イノベーション創出や国際競争力強化を牽引。



	出席者
<p>次世代の人工知能技術の研究開発に関する 3省事業推進のための準備会合 議事次第</p> <p>平成27年11月4日(水) 於：文部科学省 17階研究振興局会議室</p> <p>1. 開会 2. 研究開発に関する3省連携について 3. 討議 4. 閉会</p>	<p>総務省 技術政策課 課長 技術政策課 研究推進室長</p> <p>経済産業省 研究開発課 課長 研究開発課 企画官 研究開発課 課長補佐 研究開発課 課長補佐 研究開発課 専門職</p> <p>情報通信研究機構 経営企画部 統括 ユニバーサルコミュニケーション研究所 所長</p> <p>産業技術総合研究所 企画本部 副本部長 情報・人間工学領域 領域長 情報・人間工学領域 研究企画室長</p> <p>理化学研究所 革新知能統合研究プロジェクト準備室 室長</p> <p>文部科学省 参事官(情報担当)付 参事官 参事官(情報担当)付 専門官</p>